

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	聴覚障害教育総論 [Educating Children with Deaf]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750146	授業形態	講義	単位数	1	配当学年	2年次	
教員氏名	本田 和也				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) D P3(3)		
授業概要	<p>本授業の目的は、特別支援教育の中でも、特に知的障害教育に携わる教員に求められる専門性を養うことであり、特に知的障害児の心理・生理・病理を幅広く学ぶことである。</p> <p>特別支援学校(知的障害)での指導経験を活かし、本授業では、知的障害の定義や生理・病理面での理解を図った上で、心理面での特性とニーズについての学びを図る。</p> <p>また、実際の実践に生きるように言語指導等を含め、知的障害児の実態や特性に合わせた具体的な指導について事例等を通して理解を深める。</p>							
関連する科目	履修前に「特別支援教育総論」を履修しておくことが望ましい。							
授業の進め方と方法	<p>基本的に講義を中心とし、パワーポイントや動画など多様な手段を用いて展開する。</p> <p>また、学びをさらに深めるために、グループによるディスカッションやプレゼンテーションを行う経験を通して、深化を図る。</p>							
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 聴覚障害教育の歴史 聞こえとその障害 聴力検査 聴覚障害の歴史や病理面での基礎的な知識を学ぶ。 聴覚活用ー補聴器と人工内耳ー コミュニケーションー聴覚口話法と手話ー 聴覚を活用した言語モードの基礎的知識と様々な課題を学ぶ。 言語発達の水準と指導 日本語獲得 言語指導の基礎的知識とともにその指導の課題等を学ぶ。 障害認識 障害認識を通して、今後の聴覚障害教育のあり方を学ぶ。 							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> (1)聴覚障害の心理・生理・病理的側面に関する基本的な事項を説明することができる。 (2)聴覚障害児の様々なコミュニケーションについて理解することができる。 (3)聴覚障害児の言語発達とその支援について理解することができる。 (4)聴覚障害が子どもに及ぼす学習上・社会生活上・心理上への影響を理解することができる。 							
授業時間外の学修	<p>【予習】 授業の中で、次回の授業内容・課題などを提示するので、各自で確認したり、調べたりしておく(1時間程度)</p> <p>【復習】 テキストや配布したプリント等を基に、習得した内容を整理したり、関連する資料・図書・文献等でさらに深めたりしておく(1時間程度)</p>							
課題に対する フィードバック	毎回の授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等は、次時の授業時間に解説を行う。	評価方法	通常の授業に臨む態度と授業の最後に行う「ミニ確認テスト」等の内容(20%)、及び最終試験(80%)で総合的に評価する。					
テキスト	文部科学省編『特別支援学校居都要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚部・小学部・中学部)』開隆堂(159円＋税) なお、必要に応じてプリントを配布する							
参考書	我妻敏博著(2011)『改訂版聴覚障害児の言語指導ー実践のための基礎知識ー』田研出版(2,600円＋税) 脇中紀余子著(2013)『「9歳の壁」を超えるためにー生活言語から学習言語への移行を考えるー』北大路書房(1,800円＋税)							
備考								